



第1弾 じげもん再発見！ 食べて・学べる体験ツアー

今回は、食をメインに南島原の「じげもん」を再発見できるツアーを実施します。普段なかなか見ることのできない漬物工場やしょうゆ・みそ蔵の見学、しいたけの収穫体験をします。昼食は、16種類の味が楽しめるそうめんの創作料理をいただきます。

ツアーの最後には、南島原市のをモチーフにしたお菓子を作っているお店に立ち寄り、お店の方にそれらのスイーツをつくったきっかけなどを話してもらいます。

ぜひご家族、ご友人、お誘いあわせの上、ご参加ください。

● 集合場所・時間(各地区バスにて送迎)

地区	集合場所	出発時間	到着時間
加津佐	前浜海水浴場(交番前)	8:35	16:05
口之津	口之津庁舎前駐車場	8:45	15:50
南有馬	南有馬庁舎前バス停	9:00	16:30
北有馬	北有馬保健センター	9:05	16:35
西有家	西有家庁舎	9:15	16:45
有家	有家庁舎	9:25	16:55
布津	世紀の泉	9:40	17:10
深江	深江庁舎	9:50	17:20

6月22日

● 集合場所・時間：左記参照

対 市民または市内勤務の人

定 先着20人

料 1,500円

申 ①名前、②住所、③連絡先、④集合場所、⑤アレルギーの有無

※上記内容を電話、FAXまたはEメールで申し込んでください。

※体験活動をしますので、動きやすい服装でご参加ください。

📅 6月14日(金) 午後5時まで

申・問 観光振興課 ☎ 73-6632 FAX 82-3086

Eメール: kankou@city.minamishimabara.lg.jp



住む人に誇りを、訪れる人に感動を

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

問 世界遺産推進室 ☎ 73-6706



「原城クイズラリー」を開催

南島原市世界遺産市民協働会議では、4月14日に開催された「原城一揆まつり」に合わせて、「原城クイズラリー」を開催し、市内外から122人が参加しました。

クイズラリーは、原城温泉真砂をスタートして浅間神社や三ノ丸、二ノ丸、本丸、天草丸などのクイズポイントや、総合案内所、有馬キリシタン遺産記念館のチェックポイントを通るルートで、ゴールは南有馬運動公園の一揆まつり会場となっていました。

原城跡の史跡の指定範囲は48万平方メートルを超える広大なエリアで、参加者の皆さんはその広さを体感しながらゴールを目指しました。途中から雨が降るあいにくの天気でしたが、ほとんどの皆さんが無事にゴールし、豪華賞品が当たる抽選会も大賑わいとなりました。

こんにちは！消費生活センターです 南島原市消費生活センター ☎ 82-3010

チケットの売買は公式サイトを利用しましょう！

～転売チケットトラブル防止に向けて～



近年、人気のあるコンサートやスポーツイベントなどのチケットを、事業者や個人が大量に買い占め、SNSや転売サイト、オークションで高額で販売する不当な転売が横行しています。

本当に行きたい消費者にとっては、チケットを入手しづらい状況となり、どうしても参加したいからといって高額な料金を支払うことは大きな負担にもなります。また興行主や出演者にとっても、何の利益もありません。

2019年6月からは、高額転売を禁止するため、チケット不正転売禁止法もスタートします。

そこで今回は、転売チケットのトラブル例と、トラブルにあわないための心がけについてご紹介します。

● 転売チケットのトラブル事例

- ① SNSでチケットを譲るという人と連絡を取り合い、代金を振り込んだ。チケットが届かず、音信不通になってしまった。
- ② 転売サイトで、定価の3倍でチケットを購入。当日会場で「転売チケットだから」と入場を断られた。
- ③ ネットオークションでチケットを購入したが、公演中止となった。定価の2倍で買ったのに、興行主から「転売禁止のチケットのため、返金できない」と言われた。

● トラブルにあわないために

- ① チケットの売買は、興行主や興行主から許可を得た公式の販売サイト（またはリセールサイト）を利用しましょう。
※公式と装った偽サイトがありますので、興行主の所在地や連絡先を確認しましょう。
- ② チケットの価格だけでなく、手数料、配送予定日、キャンセルに関するルールなどを確認しましょう。
- ③ SNSでの取引は特にトラブルになりやすいため、避けましょう。

今年はラグビーワールドカップ2019日本大会が、来年にはいよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。観戦希望の人が、正規価格で観戦できるよう、安心・安全な社会を構成する消費者の一人として、チケットを売買する際は、公式サイトを利用するよう心がけましょう。

こい何か知っちゃう？

南島原の考古学

縄文土器の文様～東大窪遺跡(有家町)～



様々な文様の縄文土器

縄文土器に施される文様はじつに多様です。線が並ぶもの、点々のもの、網目模様のもの、なかには文様が全くない土器もあります。縄文土器とはいいますが、かならずしも縄目のような文様がついているとは限りません。

土器製作時に文様を施すのに使われた道具も、文様ごとに違ってきます。連続して並ぶ線はクシのような道具を引っかけて、また小さい点は棒のような道具を突きさして描かれています。網目模様のは、より糸をぐるぐると巻きつけた棒を土器表面にコロコロと転がして描いたものと考えられています。

今回ご紹介するのは有家町の東大窪遺跡から出土した縄文時代早期末(今から約7000年前)の土器です。線・点・網目の文様はこの時期の土器にみられる特色です。多様な文様が確認でき、その線も鮮明です。それぞれの文様はどのような道具を使って施されたのか、じっくり観察してみてください。

6月・7月の小企画

📅 6月1日(土)～7月31日(水) ※休館日：毎週火曜日

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

📍 深江埋蔵文化財・噴火災害資料館

🎫 一般…200円、高校生…150円、中学生以下…無料

※団体割引あり ※企画展は入館料のみでご覧いただけます。

📞 問文化財課 ☎ 73-6705